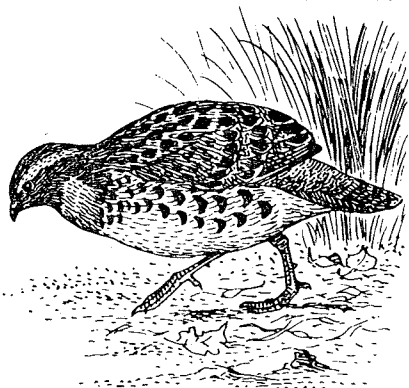


成蹊会誌 37・1973年初夏号

コジュケイ *Bambusicola thoracica*
thoracica (Temminck) 鶉^{シロアヒ}鷄目キジ科コジュケイ属。留鳥として本州中部以南に多いが、元来は中国から移殖した鳥である。1919年に東京都や神奈川県で10~20羽ぐらい放鳥したものが自然に増殖して今日に及んでいる。1931年ごろから急にその数を増し、現在では東京都区内や近郊、神奈川県・埼玉県・千葉県や関東地方一円に多く生息し、とくに房総地方や伊豆半島・静岡県・兵庫県・伊豆大島などの温暖な地方には生息数が多い。1932年に初めて狩猟鳥として神奈川県二俣川で猟区内での捕獲が許可された。徳島県や鹿児島県の桜島な



どにも放鳥された。雑木林の密生するくさむら中で3~5羽ぐらいの小群や20~30羽ぐらいの大群で両脚を交互にしつつあちこちと歩いて餌をあさっている。麦畑や農耕地で餌をあさることが多い。ときには道路・芝原・畑や庭園などの見通しのよいところで餌を捜していることもある。走り去るときにはなかなか迅速である。茂ったくさむらの中に走りこんでのがれることが多い。猟犬に追い立てられるとバタバタとはげしい羽音で舞い立ち、翼を弧形に彎曲させて滑翔して飛び去るが、大群や小群が猟犬に追われていっせいに舞い

立つときには各方向にむけて四散するのが常である。ときには飛び立ったものが樹上に舞い上がってじっと小枝にとまってうづくまっていることもある。群生したものが追い立てられてしばらくすると、チョットホイ・チョットホイとはげしい声で互になきあって次次にある点に集まるのが常である。

夜間はスギなどの梢をねぐらとするものが多く、ときには地上から20mにも及ぶ高い梢にとまることもある。ピョホイー・ピョホイーまたはピークイー・ピークイーとかん高い声で20~30回ぐらいも繰り返してなき、周年にわたってなが繁殖期はとくに盛んであり、また朝と夕べにとくになくのが常である。雛をつれた雌はコッ・コッ・コッコッと小声でなくて警戒を与える。雑木林・低木叢林・草原・庭園や公園のくさむらの中に営巢する。地上のくぼみを巢(外径17~15, 高2.5cm)とし、産座には雑草類の茎や葉を敷き、5月から6月ごろ、灰黄色の地に褐色の小斑点のあるものと斑点のまったくない卵(35.6×26.1mm)を7~8個ぐらい産卵する。巢の周辺は深い草類で覆われているのが常である。

頭上・後頭は褐色で暗褐色の細緑と淡くり色の斑紋とがある。灰色の肩斑があり、耳羽・頬・喉・頸側はあざやかな赤褐色、前頭は灰色で暗色の細い横縞が多い。肩羽と背は褐色で暗褐色の横縞が多く、濃いくり色の大きな斑がところどころにあり、肩羽にはクリーム白色の円形の小斑がある。上背は灰褐色を全体に帯びている。腰・上尾筒は褐色で暗褐色の細い横縞が多い。胸・腹・脇・下尾筒は黄褐色で脇には黒褐色の三日月形の斑紋が多い。翼は暗褐色で黒褐色の細かい小斑点多く、三列風切は褐色で暗褐色の大理石のような斑点がある。尾は中央の1対は淡褐色で暗褐色の不規則な横縞が多い。他の尾羽は赤褐色である。

成蹊学園六十年史刊行

中村春二先生の成蹊教育は私塾成蹊園に源を発し学校の形をとって実務学校となり拡がって小学校、中学校、女学校、実業専門学校が併立した。然し、それ等がそのままの姿で続くことなく次ぎ次ぎにと廃校されたり離れたりして現在の地に移転するときには小学校だけを残して七年度高校に衣替えした。その高校も敗戦による学制改革で新制の中、高、大学に組みかえられた。企業組織がえと異って学校には生徒、教員、卒業生と呼ばれる生命が流れている。一つの学校が生れて育つにはそれぞれ理由があり、それを廃止するにもそれ相応のわけがあったに違いない。

然し成蹊の各学校を募ってきた生徒や先生はどんな立派な理由があるにしろ自分達の学校の廃止によって受ける傷手は設置者や第三者の思い及ばない大きなものである。そうした傷手に耐えそれを踏み越えて成蹊学園は建学の精神を生かしつつ育ってきたのである。その一つ一つの学校の歴史の資料をこうした心の動きと共に集め、そのばらばらの資料の糸をつなぎ合せて一貫した成蹊学園史に編むことは容易なことではない。度々試みられた学園史の刊行もこうした難関にさえがられて日の目を見るに至らなかった。学園五十年周記念の一環としてこの宿願を

成就させようとの決意の下に高瀬総長を会長に上記各学校の卒業生や職員を動員して刊行委員会を発足させた。然し資料の収集と執筆者の人選という厚い壁にぶつかって今回も実現が危ぶまれたが委員各位の不屈の熱意と執筆担当者の献身的努力により見事に完成を見、学園六十年史を発刊配布できる運びとなった。敗戦の虚脱と放心の中で吾々はそこにしあわせがあると思いい違いをして物の量だけを増すことに汲々とした。経済成長のひびみの影に恐ろしい公害がひそんでいたことに気がついてとまどっている。昏迷という表現が今ほどびたりする時代はない。成蹊六十年の歩みをかみしめて「心の力」を再認しこの昏迷の中に本当の福祉社会への活路を世に示すすがにできたら幸である。

(丹羽孝三・成蹊学園専務理事)

成蹊学園六十年史

● A5版 本文 七〇九頁

原色版 二頁 口絵 三二頁

● 定価 二五〇〇円(送料二〇〇円)

● 送金先 〒180 武蔵野市吉祥寺北町三の三の一

社団法人 成蹊会あて

● 送金方法 現金書留

● 送金あり次第送本いたします。

成蹊学園近況

一 成蹊学園の概況(昭和四十七年度)

成蹊学園寄付行為の一部変更が、昭和四十八年四月二十八日付で、文部大臣より認可された。これに伴い学園組織の一部を次のように変更した。従来の常務理事制を廃止して、新たに専務理事をおき、専務理事は理事長を補佐して、法人の日常業務を担当する事とした。又、学園規則の一部を改正し、総長の諮問機関であった審議会は廃止し、各学校間の連絡調整のため、新たに学園協議会がおかれた。

大学では、大学院の法学政治学研究科政治学専攻および経営学研究科経営専攻にそれぞれ博士課程を増設申請し、昭和四十八年三月二十八日付で承認された。

小学校では舞台の改造を行ない、劇・研究発表等の児童の創造的表現活動を活発に展開した。又、児童の手による栽培・清掃等によって環境を整備することに努め、一方、地震対策として、非常用毛布食糧を準備し、避難訓練を行なった。

六月には、日本私立学校連合会の会場校となり約千名の先生たちの集まりの中で、授業を公開し研究発表をした。

ルーム棟のサッシュの調整補強、小学校体育館のステージ改修、総合グラウンド北側にサッカー場新設、北門通りコンクリートブロック塀設置等を行ない教育研究施設の増設と教育環境の整備を計った。一方校外施設のうち、懸案となっていた波左間寮の増改築に着手、本年七月初旬には竣工の予定である。

以上のように昭和四十七年度も教育内容の充実と施設の拡充を計り新しい躍進をつづけている。

二 組織

□ 学校法人成蹊学園

○ 印卒業生

理事長 小笠原 光雄 三菱銀行相談役

専務理事 丹羽 孝三 成蹊大学経済学部長

理事 朝倉 孝吉 成蹊大学長

〇 岩崎 忠雄 三菱モンスター化成社長

〇 岡野 寛弥 三菱銀行

〇 賀集 益蔵 三菱重工業相談役

〇 笠原 逸二 極東貿易相談役

〇 金沢 良雄 成蹊大学法学部長

〇 河野 美能留 成蹊中学高等学校長

〇 佐々木 昌義 成蹊大学文学部長

〇 生野 康吉 成蹊大学文学部長

〇 高杉 晋一 三井信託銀行社長

〇 高山 英華 白光真宏会理事

〇 野村 純三 三菱電機相談役

成蹊小学校長

大学名	48.3卒	47.3以前卒	入学者計	合格者	大学名	48.3卒	47.3以前卒	入学者計	合格者
工学院大		1	1	1	東京医大		1	1	2
芝浦工大		1	1	1	独協医大		2	2	2
東邦大	1	2	3	3	北里大	1	1	2	2
京都産業大		1	1	1	麻布獣医大	1		1	1
昭和女子大				1	東京女子医大	1		1	1
跡見女子大				1	愛知医大		1	1	1
明治薬大	2	1	3	3	聖マリア医大		3	3	3
昭和薬大				1	帝京大医		1	1	1
星薬大				1	国立音大		2	2	2
東京薬大				1	多摩美大				1
日本歯大	3	1	4	4	東京造形大		1	1	1
東京歯大	2	1	3	3	武蔵野美大				1
東北歯大	1		1	2	私立大計	52	57	109	206
城西歯大	2		2	2	東京成徳大				1
鶴見大歯		1	1	2	短洗足学園短大				2
松本歯大	1		1	1	武蔵野美短大	1	2	3	4
神奈川歯大				1	文化学院		1	1	1
慈恵医大	3	3	6	6	津田スクール・オブ・ビジネス		1	1	1
日本医大		3	3	4	短大その他計	1	4	5	9
杏林大医		2	2	4					
昭和大医		1	1	2					
岩手医大		1	1	2					
順天堂大		2	2	2					

大学	48.3卒	47.3以前卒	入学者	合格者
成蹊大(推薦)	235		235	235
国公立大	11	12	23	25
私立大	52	57	111	206
短大その他	1	4	5	9
合計	299	73	372	475

48年3月卒業生	成蹊大(推薦)	235
	他大学	64
	浪人	57
		356

大学名	48.3卒	47.3以前卒	入学者計	合格者	大学名	48.3卒	47.3以前卒	入学者計	合格者
成蹊大(推薦)	経済学部	96		96	(商)				4
	工学部	34		34	(文)	1		1	1
	文学部	45		45	早稲田大(教)				1
	法学部	60		60	(理工)	1	1	2	10
計	235		235		(法)	1		1	3
					(商)				2
					(文)				2
北海道大		2	2	2	(政経)				1
東北大		1	1	1	日本大	4	6	10	17
一橋大	2	1	3	3	上智大	3	3	6	12
お茶の水女子大	2	1	3	3	東海大	2	2	4	9
東京大	5	1	6	6	立教大				3
東工大		1	1	1	青山学院大	1	2	3	5
名古屋大		1	1	1	津田塾大	1		1	3
京都大	2		2	2	東京農大	1	1	2	3
電気通信大		1	1	1	武蔵工大				2
東京外語大				1	東京理大	3	1	4	7
東京学芸大				1	学習院大				1
東京商船大		1	1	1	玉川大		1	1	1
奈良県立医大		1	1	1	日本女子大				1
横浜市立大		1	1	1	東京女子大		1	1	1
国公立大計	11	12	23	25	国際キリスト大	1		1	1
成蹊大(経)				3	同志社大		1	1	1
(工)	1	2	3	5	創価大	1		1	1
(文)				1	専修大	1		1	2
(法)		1	1	4	明治大				1
慶応大(工)	4		4	10	関東学院大		1	1	1
(法)	6	1	7	9	東京電機大				1
(経)				6	千葉商大	1		1	1
					明星大	1		1	3

六 高等学校卒業生の進学先 (昭和四十八年四月二十五日現在)

成蹊会近況

昭和四十七年八月 一日
昭和四十八年三月三十一日

一 会議

○理事会

一、第四回理事会(十月二日)

(1) 育英奨学基金募集の件

○特別委員会

(1) 育英奨学委員会(十月十七日)

○支部会

(1) 関西支部会(十一月二十日・大阪)

(2) 東海支部会(昭和四十八年一月六日・名古屋)

○同窓会

(1) 工学部委員会(十月十三日)

(2) 文学部委員会(十月十四日)

(3) 法学部同窓会設立世話人会(十月十六日)

(4) やよい会委員会(十月十八日)

(5) 経済学部同窓会設立世話人会(十月二十七日)

(6) 専門学校総会(十一月十四日)

(7) 文学部委員会(十一月十八日)

(8) 工学部総会(十一月二十三日)

(9) 文学部総会(十一月二十三日)

二 事業

○第十四回恩師謝恩顕彰会(十一月六日)

石川 進 先生(七十歳)

高橋 健二 先生(七十歳)

吉田 虎彦 先生(七十歳)

お祝金総額 一、一五四、〇〇〇円

応募された会員 三六二名

○刊行物

(1) 成蹊会誌第三六号 五五頁(九月十五日)

(2) 成蹊高校卒業生名簿 一九〇頁(九月十五日)

(3) 大学四学部新卒業生名簿 四二頁(十一月一日)

(4) 成蹊高校(旧制)卒業生名簿 七四頁(十一月一日)

(5) 大学政治経済学部卒業生名簿 一五〇頁(四十八年一月一日)

○寄付金(贈呈)

(1) 全国高校庭球大会(八月一日)

金 三五、〇〇〇円(高校)

(2) 全国中学サッカー大会(九月七日)

金 五〇、〇〇〇円(中学)

物故会員

(昭和四十七年九月一日)
(昭和四十八年三月三十一日)

土屋 三郎(特別会員) 昭和四十七年九月十七日

藤原 安治郎(特別会員) 昭和四十八年三月三日

大内 由之介(特別会員) 昭和四十八年三月七日

山本 麟(旧高) 昭和四十七年十月二日

橋本 篤(政経) 昭和四十七年十月四日

吉尾 千穂子(高校) 昭和四十七年十月五日

池谷 嘉昭(政経) 昭和四十七年十月二十五日

田坂 駿(旧高) 昭和四十七年十一月八日

鳥海 裕(政経) 昭和四十七年十二月十九日

三好 秀雄(中学) 昭和四十七年十二月三十日

安部 豊明(専門) 昭和四十八年一月二十日

日野 貞雄(旧高) 昭和四十八年三月一日

柳川 勝之(高校) 昭和四十八年六月十九日(追加)

斎藤 多通子(女) 昭和四十七年二月二日(追加)

松村 満三郎(中学) 昭和四十七年二月二日(追加)

繁富 清盛(旧高) 昭和四十七年二月二日(追加)

会員名簿の頒布について

会員名簿は従来隔年おきに全卒業生を集録した名簿を刊行してまいりましたが、都合により昨年度から各学校各学部別に分冊して配付しております。

しかし他学校他学部の名簿がご入用の方もございますので、残部に限り有料でお分ちいたします。御希望の方は現金書留にて成蹊会までお申込み願います。

昭和四十六年度版 会員名簿(全卒業生集録) 一、〇〇〇(千共)

昭和四十七年度版 高等学校(旧制)名簿 五〇〇円(千共)

昭和四十七年度版 高等学校(新制)名簿 五〇〇円(千共)

昭和四十七年度版 大学政経学部 名簿 五〇〇円(千共)

なお本年度は池袋(実務・中学 専門)・やよい会(女学校)

・プレメ・高校(新卒)大学四学部(経・工・文・法各々別冊)の各同窓会名簿を作る予定にしております。